

教えて! 市立病院

〈第98回〉

心不全のアドバンス・ケア・プランニング

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

【今月の医療職】

看護部

看護師 なかしま りえ
中島 理恵

アドバンス・ケア・プランニング (ACP) という言葉をご存知でしょうか? ACPとは、今後の治療や療養について患者、家族と医療従事者が事前に話し合うプロセスのことを言います。「人生会議」とも言われています。

心不全の患者に対しては、心不全の発症早期からこれからの生活をできるだけより良いものにするために、ACPを考えていく必要があります。

なぜ早い段階から ACP を考えていくかというと、心不全はがんと違い、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、最終的には急速に悪化をしていくため、本人が望む治療やケアを決定できない場合があるからです。早期から今後のことについて話をしておくことが大切です。

具体的には、人生の最期をどこで過ごしたいか、どのような医療を受けたいかなどについて話し合います。自宅で過ごしたいという場合、訪問診療や訪問看護、訪問ヘルパーなどの利用を調整します。患者の思いを尊重し、希望に

添えるように支援していきます。これらのことは、一度決めても気持ちが変わるかもしれません。その度に何度も話し合っていくことが大切です。

ACP は、より良い人生選択ができるようにするための一つのツールです。人生をより良いものにするために病院スタッフで支援していくことができます。

